

## インド、中国、タイの企業活動が環境に及ぼす影響

### 「発展途上のアジアにおける企業環境管理（CEM）の強化のための事前対応的政策とビジネス戦略」

発展途上のアジアにおいて、企業が、トリプルボトムラインに基づく持続可能な開発を継続するには、従来型の規制手法による環境政策だけでは限界がある。

現行の企業環境管理の実施に関する強みと欠点を検討し、企業の自主的取組により、環境管理を強化する事前対応的な政策手法とビジネス戦略を提示することを目的とする。

#### 1 産業関連政策と企業の優良事例の評価及び分析

アジア各国において、企業の環境管理を促すために、実施している政策を評価するとともに、企業が汚染物質排出削減や廃棄物管理等を進めている優良事例を分析し、企業が自主的に環境管理を進める際の様々な促進・阻害要因を検討する。

#### 2 地域社会や行政の関与、サプライチェーン管理アプローチの分析

中小企業のCEMの促進を促進するために、地域社会や行政が関与することによる周辺環境整備（技術支援、資本貸与、インフラ整備など）の有効性を評価する。

また、地球規模のサプライチェーン管理（SCM）を通じた技術支援や圧力などの企業間の相互作用や動機について分析し、サプライチェーンにおける環境管理を最大限に生かすための政策手法を検討する。

#### 3 環境情報開示制度による環境行動の促進

大企業による環境情報開示制度の現状について調査を行い、環境負荷やエネルギー効率などの環境情報の公開が企業の環境行動にもたらす影響を検討する。

公的な情報報告制度の特徴及び関連するファクターについて利益・コストを勘案し、制度を環境管理の促進に反映させるための消費者、行政等の役割について検証する。

- ・ 中国、インド、タイの産業・環境政策に関する国別ファクトファイルの調査
- ・ サプライチェーン管理、環境情報開示スキームおよび国レベルで取り込まれている自主的手法や取組の評価
- ・ 現地調査、専門家協議を通じた優良事例の収集、主要な経済セクターにおける各種手法を普及させるための促進・阻害要因の特定

#### （各国リサーチパートナー）

中国：南京大学環境学院

インド：インド経営大学院 パールビジネススクール・バンガロール校

タイ：タイ環境研究所